

都中道研

第一二二二号

副会長 麻生 隆久（多摩市立聖ヶ丘中学校長）

平素は、東京都中学校道德教育研究会（以下「都中道研」）の活動に対し、格別の御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。また、先日は、江東区立大島西中学校で開催されました第五十回東京都中学校道德教育研究会研究発表大会に、御多用にもかかわらず、指導講話をお引き受けいただいた文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官の飯島秀彦先生を始め、多数の皆様にお越しいただきまして心より御礼申し上げます。

さて、今年度より中学校も「特別の教科 道德」（以下「道德科」）が全面实施となり、検定教科書を使用した授業が始まりました。この教科化にあたり、「考え、議論する道德」を念頭に置き、「主体的・対話的で深い学び」のある道德の授業をどう作るか、評価の方法やあり方はどうあるべきかといったことなど、多くの学校で、道德科に関する研修が行われたことと思えます。このような中、都中道研におきまし

ても、道德教育の充実を目指し、より実践的な研究に取り組みました。まず前半は、主に全中道研鳥取大会と関東甲信越中道研茨城大会に向けてそれぞれ「道德科における指導と評価の在り方」、「家庭や地域は社会との連携を図った道德教育」をテーマに研究・討議しました。後半は、「教材の特質に応じた多様な指導」をテーマに、道德科における問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた授業づくりについて、ワークショップ形式で研究討議を重ね、先日の都中道研研究発表大会で事例として御覧いただきました。これらの取組を通じて改めて感じたことは、どのような方法を取り入れるにしても、それは、ねらいを達成するための手段であるということです。研究発表会当日に皆様からいただいた多数の貴重な御意見を糧に、道德教育のさらなる充実を目指し研究活動を続けてまいりますので、今後とも御指導御協力を賜りますようお願い申し上げます。

事務局だより

事務局長 月田 行俊

（江東区立大島西中学校長）

一 令和二年度活動予定

次年度の活動予定について、主な日程は、次の通りです。

◎ 総会・研修会

令和二年五月十五日（金）

中野サンプラザ研修室

講師 文部科学省初等中等教育局

教育課程課 教科調査官

飯塚 秀彦 先生

◎ 第一回部員総会・研修会

令和二年八月二十四日（月）

中野サンプラザ研修室

講師 文部科学省初等中等教育局

教育課程課 教科調査官

飯塚 秀彦 先生

◎ 第二回部員総会・研修会

令和三年一月

◎ 第五十一回研究発表大会

令和三年二月

講師 文部科学省初等中等教育局

教育課程課 教科調査官

飯塚 秀彦 先生

二 全国大会・関東甲信越大会

◎ 第五十四回全日本中学校

道德教育研究大会高知大会

令和二年十月二十九日（木）

三〇日（金）

高知県民文化ホール（グリーン）

高知県高知市立一宮中学校

高知県南国市立岡豊小学校

大会主題 「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道德教育の展開」

「自らを見つめ生き方を深く考える道徳科を要として」

東京都は、第一分科会「指導計画の作成と推進体制の確立」について提案することとなっています。

◎ 第四十九回関東甲信越中学校

道德教育研究大会千葉大会

令和二年十一月十三日（金）

千葉県浦安市立日の出中学校

大会主題 「豊かなかわりを通して、他者と共によりよく生きようとする生徒の育成」

東京都は、第三分科会「魅力ある道徳科の教材の工夫と活用」について提案することとなっています。

東京は、第三分科会「魅力ある道徳科の教材の工夫と活用」について提案することとなっています。

東京は、第三分科会「魅力ある道徳科の教材の工夫と活用」について提案することとなっています。

東京は、第三分科会「魅力ある道徳科の教材の工夫と活用」について提案することとなっています。

東京は、第三分科会「魅力ある道徳科の教材の工夫と活用」について提案することとなっています。

東京は、第三分科会「魅力ある道徳科の教材の工夫と活用」について提案することとなっています。

東京は、第三分科会「魅力ある道徳科の教材の工夫と活用」について提案することとなっています。

東京は、第三分科会「魅力ある道徳科の教材の工夫と活用」について提案することとなっています。



令和元年度研究部活動報告

研究部長 木村 知広

(板橋区立赤塚第三中学校長)

今年度の研究部では、月一回の研究部会を12回開催し、研究主題にそった研究を推進するとともに、第53回全日本中学校道德教育研究大会(鳥取大会)、第48回関東甲信越中学校道德教育研究大会(茨城大会)に向けて発表内容の検討、調査活動と紀要作成に取り組みました。

第一回から第十一回までの活動報告と取組についての成果と課題を以下にまとめます。

1 活動報告

第一回～第五回(四月～八月)

会場 板橋区立赤塚第三中学校他

- ① 令和元年度の研究部の活動方針・活動計画の確認
- ② 令和元年度全日本中学校道德教育研究大会・関東甲信越中学校道德教育研究大会の発表内容の検討
- ③ ワークショップ
 - ・問題解決的な学習、道德的行為に関する体験的な学習が可能な教材の情報交換
 - ・教材の特質から、問題解決的な学習・体験的な学習(役割演技)に適した教材検討
- ・東京中学校道德教育研究会発表会における教材選定と授業者検討

第六回～第十一回(九月～二月)

会場 板橋区立赤塚第三中学校他

- ① 令和元年度全日本中学校道德教育研究大会・関東甲信越中学校道德教育研究大会の発表内容の検討
- ② ワークショップ
 - ・東京中学校道德教育研究会発表会における教材選定と授業者検討
 - ・「裏庭のできごと」「課長 島耕作」「笛」の指導案検討
- ③ 令和元年度調査活動の内容・設問等の検討
- ④ 令和2年度全日本中学校道德教育研究大会・関東甲信越中学校道德教育研究大会の発表者の検討
- ⑤ 第2回部員総会・研修会発表の検討・リハーサル
- ⑥ 東京中学校道德教育研究会発表会の運営等の検討

2 発表

- ① 第53回全日本中学校道德教育研究大会鳥取大会東京代表

府中市立府中第一中学校

教諭 武田 彩

テーマ「道德科における指導と評価の在り方」



- ② 第48回関東甲信越中学校道德教育研究大会茨城大会東京代表
- 多摩市立多摩中学校
指導教諭 三浦 摩利
- テーマ「家庭や地域社会との連携を図った道德教育」

③ 第五十回東京都中学校道德教育研究会研究発表会公開授業

○ワークショップでの成果を踏まえて、公開研究授業で、教材の特質に応じた多様な指導についての提案を行いました。

- 教材「裏庭のできごと」
 - ・一年A組 福守 久子 教諭 (渋谷区立渋谷本町学園)
 - ・一年B組 戸上 琢也 主任教諭 (品川区立品川学園)
- 教材「課長 島耕作」
 - ・一年C組 多田 義男 教諭 (筑波大学附属中学校)
 - ・一年D組 武田 彩 教諭 (府中市立府中第一中学校)
- 教材「笛」
 - ・二年A組 海老澤 宏 主幹教諭 (八王子市立宮上中学校)
 - ・二年B組 城戸加代子 主幹教諭 (江戸川区立葛西第三中学校)
 - ・二年C組 高橋 優子 主幹教諭 (武蔵村山市立第四中学校)
 - ・二年D組 佐野 貴昭 主幹教諭 (昭島市立福島中学校)

○文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 飯塚 秀彦先生に指導講話をしていただきました。講話の一部を掲載いたします。



◆指導講話内容（一部）

『解説 特別の教科 道德編』の評価の部分には、道德科では、生徒が「自己を見つめ」「広い視野から多面的・多角的に」考える学習活動において、「道德的諸価値の理解」と「人間としての生き方についての考え」を、相互に関連付けることによって、深い理解、深い考えへとつながっていく。こうした学習における一人一人の生徒の姿を把握していくことが、生徒の学習活動に着目した評価を行うことになる、ということを通じて述べています。目標に示されている学習活動ということが、評価に関する説明の中にも繰り返し、繰り返し出てくるということが、ここでもお分かりいただけるかなと思います。また、『解説 特別の教科 道德編』の中では、内容項目について、次のような説明がされています。ここに挙げら

れている内容項目は、中学校の3年間に、生徒が人間として他者と共によりよく生きていく上で、学ぶことが必要と考えられる道德的価値を含む内容を、短い文章で平易に表現したものである。これらの内容項目は、生徒自らが道德性を養うための手掛かりとなるものである。内容を端的に表す言葉そのものを教え込んだり、知的な理解にのみとどまる指導となったりすることがないように、十分留意をすること。この解説については、当然かと思えます。特に、道德科が他の教科と違うこととしては、教える・教えられるという関係ではないところで、道德科の授業が展開されるということが、非常に大切なことなのではないかなと思います。

今日の授業研究の中でも、少しそのようなことに触れられていたところもあったと思いますけれども、教える・教えられるではない、そういった関係というのが、道德科の授業のときには非常に大事で、そのとき生徒と教師が共に考える手掛かりとなるのが、内容項目であるということになります。

3 成果と課題

今年度は、「特別の教科 道德」の全面実施、検定教科書を使用した授業が各校で始まり、より一層の授業力の向上が求められている。

これまで研究部では、道德科全面実施を向けて、考え議論する道德の基盤となる指導方法や評価方法の研究を推進してきたところだが、改めて、専門家会議報告を見つめ直し、教材の特質に応じて、問題解決的な学習や体験的な学習等を適切に取り入れた指導の実践及び研究の蓄積を図るため、ワークショップを開催した。

ワークショップでは、専門家会議報告の確認、教材の情報交換や教材の選定、「裏庭のできごと」「課長 島耕作」「笛」の指導案検討等を通じて、問題解決的な学習の要素や役割演技を取り入れた体験的な学習の要素を適切に取り入れた指導方法についての理解と実践を深めることができ、部員の授業力向上を図ることができた。また、ワークショップでの成果を踏まえて、研究発表会における公開研究授業で、教材の特質に応じた多様な指導についての提案を行うことができた。

今年度の第53回全日本中学校道德教育研究大会（鳥取大会）、第48回関東甲信越中学校道德教育研究大会（茨城大会）に向けた発表内容の検討の際にも、各学校における道德教育の推進、教員の授業力向上のポイントを視野に入れて協議を深めることができ、その成果を全国・関東に発信することができた。

さらに、永年の取組として継続して

いる調査活動は、集計作業等の簡素化を図るために、東京都中学校道德教育研究会のホームページを活用したアンケート調査を行い、各学校での道德科の取組実態と課題等を整理することができた。特に今年度は、ローテーションでの指導を行っている学校が、一昨年から2倍となる6割を超え、発問の工夫や話し合いの工夫等について前向きに検討している実態が明らかになった。今後研究部では、この調査結果をもとに、各学校でのニーズや課題解決に資する取組等を提案できるよう、研究活動を推進していくことが重要である。

以上のように今年度の研究実践で得た成果を基に、各学校や一人一人の教員の積極的に斬新な取組を活性化させるとともに、道德教育の創発的な発展を促すことができるよう、効果的な指導方法等についての研究をより一層深め、提案できるようにすることが今後の課題である。そして、第54回全日本中学校道德教育研究大会（高知大会）の「指導計画の作成と推進体制の確立」、第49回関東甲信越中学校道德教育研究大会（千葉大会）の「魅力ある道德科の教材の工夫と活用」についても東京都中学校道德教育研究会として十分に検討し、提案していきたい。

事務局後期活動報告

事務局長 月田 行俊

(江東区立大島西中学校長)

一 全国大会・関東甲信越大会

◎第五十三回全日本中学校道德教育研究大会鳥取大会が、「人間としての生き方について自らの考えを深める道德教育のあり方」道德科としてのこれからを試行する」を大会主題として、令和元年十月に行われました。

東京は、第六分科会「道德科における指導と評価の在り方」を担当し、「よりよく生きることに共について共に考え、共に語り合う授業をめざして」教材の特質を活かした多様な指導と生徒を認め、励ます評価の実践」について、武田 彩教諭(府中市立府中第一中学校)が発表しました。

◎第四十八回関東甲信越中学校道德教育研究大会茨城大会が、「自己の生き方について考えを深め、共によりよく生きる生徒を育む道德教育」を大会主題として令和元年十一月に行われました。

東京は第二分科会「家庭や地域社会との連携を図った道德教育」を担当し、「保護者や地域の人々と共に考え、共につくる道德科の授業づくり」について、三浦摩利指導教諭(多摩市立多摩

中学校)が発表しました。

二 第二回部員総会・研修会

令和二年一月十八日(金)に、中野サンプラザ研修室にて、第二回部員総会・研修会が行われました。

臼倉美智会長のあいさつに続き、顧問の津田知充先生からごあいさつをいただきました。

(一) 部員総会

庶務、会計、研究、広報の各部より進捗状況と部員への周知事項の報告がありました。

(二) 研修の部

今年度の研究の柱である「教材の特質に応じた多様な指導」について、木村知広研究部長から説明があり、続いて第五十回東京都中学校道德教育研究会研究発表会の公開授業指導案について福守久子教諭(渋谷区立渋谷本町学園)、武田 彩教諭(府中市立府中第一中学校)、高橋優子主幹教諭(武蔵村山市立第四中学校)が発表し、質疑応答を行いました。

(三) 講評

全日本中学校道德教育研究会事務局長の吉田 修先生より、「道德科の授業と道德教育」についてお話しいただきました。



三 第五十回東京都中学校道德教育研究会研究発表会

令和二年二月十三日(木)に、江東区立大島西中学校を会場として、一・二年八学級での公開授業と公開授業研究会、研究発表会が行われました。

公開授業は、八学級に研究部の先生方が授業者として関わり、学級担任がサポートする形でを行い、問題解決的な学習や体験的な学習についての提案を行いました。その後、各学級で、公開授業研究会を行い、活発に議論が行われました。

研究発表では、木村知広研究部長から本大会に関わる説明があり、続いて文部科学省初等中等教育局教育課程

課教科調査官の飯塚秀彦先生より「指導と評価の一体化を進めるために」と題した指導講話をしていただきました。

教科化になって初めての大会であり、盛況に終わることができました。

編集後記

日頃より、都中道研の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。この度、広報第一二二号をお届けいたします。今後も、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

広報部

部長 生野 まゆみ

(調布市立第五中学校副校長)

副部長 佐藤 正敏

(大田区立志茂田中学校副校長)

副部長 吉田 る実

(府中市立府中第六中学校副校長)

都中道研のホームページ

<http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=1350004>

<http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=1350004>

<http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=1350004>

